**第９回登別市市民自治推進委員会　育み部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２９年２月２０日（月）　１７：３０～

◆ 開催場所：登別市役所２階　第１委員会室

◆ 出席部会員：部会長　　安宅　錦也

　　　　　　　 部会員　　仲川　弘誓

　　　　　　　　　　　　 合田　美津子

　　　　　　　　　　　　 磯田　大治

　　　　　　　　　　　　 佐藤　文子

　　　　　　　　　 橋場　太 （協働推進庁内委員会部会長）

【教育部次長】

　安部　直也（協働推進庁内委員会副部会長）

【教育部社会教育Ｇ総括主幹】

◆ 欠席部会員：副部会長　川村　正勝

◆ 事務局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

野畑　衣里子【市民生活部市民協働グループ主任】

◆ 議題：「公園の利用に関するアンケート」の集計等について

**≪事務局≫**

事務局から今日の会議の流れを説明させていただきます。

２月１５日に開催しました部会長・副部会長会議の概要について説明をさせていただきましてから、部会長に引き継ぎたいと思いますのでよろしくお願いします。

部会長・副部会長会議では、市の新年度予算案の内容について、配布資料に沿って部会ごとに事務局から説明しました。

　配布しております「「健康」をテーマとした取組」と書いてあるＡ３横の資料をご覧ください。

上段には、体系図で「情報発信事業」「調査事業」「体験事業」ということで各部会が取り組むことを記載しております。

下段の部分は各部会の取組内容を記載しており、その取組に関連する市の事業や経費の想定される部署を右側に記載しております。

各部署については、必ずしも部会で実施する取組に連動して関わっていくというものではありませんが、参考までに記載しております。

各部会の取組内容として、ぬくもり部会につきましては、資料に記載のとおり、特定健診の受診率向上に向けた取組を行うこととしており、先月、皆さんにもアンケートを送ってご協力いただきましたが、まずは市民自治推進委員会の委員の方の実態を調査してみて、受診率の向上に向けた取り組みを議論していくこととしております。

内容的には事務改善的なものが主になりますので、新年度の予算措置はしておりません。

防災・環境部会につきましては、前回の部会長・副部会長会議において、自然環境に触れるようなウォーキングに取り組むということで、市民参加のバス借上料と参加賞の景品代を要求するとの説明をしておりましたが、その後の部会において、お金をかけないような取組にした方が良いとの話になり、イベント形式の取組をやめて、資料に記載のとおり、災害時の避難経路のウォーキング等の取組を行うこととして、新年度の予算措置はしておりません。

産業躍動部会につきましては、地場産の食材を使用した料理教室を開催するということで、食材の材料費等を予算措置しております。

なお、予算要求における市内部の協議において、市民自治推進委員会で料理教室を行う場合は、市の既存事業においても料理教室を行っているものがありますので、それとの整理が必要ではないかとの話がありました。

したがいまして、料理教室に関する予算措置の内容は、保健福祉部健康推進グループが所管する既存事業であります食育事業の親子料理教室に関する予算に地場産品の食材費を上乗せしております。

　また、観光経済部商工労政グループが所管する既存事業である婦人センター講座に関する予算にも同様に食材費を上乗せしております。

都市調和部会につきましては、「きらり健康ふれあいウォーキングマップ」を新しくするための印刷製本費を要求することとしておりましたが、ウォーキングマップを所管する社会教育グループが新年度にウォーキングマップをリニューアルすることとしておりまして、社会教育グループが印刷製本費を予算要求しましたので、市民自治推進委員会に関する経費では予算措置はしておりません。

　実際の取組としては、社会教育グループがウォーキングマップをリニューアルする際に、都市調和部会のアイディアなどを取り込めるような形にしたいと思います。

育み部会につきましては、前回の部会長・副部会長会議の説明では、公園の利用実態調査に取り組むということで、連合町内会に協力を依頼し、連合町内会側から謝金は必要ないとの話があったことから、予算措置ははしておりません。

なお、その後の部会において、調査対象を小中学校及び幼稚園保育所としてアンケート調査を実施したところで、現在調査結果をまとめているところですと報告しております。

まちづくり部会につきましては、健康に関する講演会の開催ということで、講師謝礼の６万円を予算措置しております。

ただし、予算要求における市長との協議におきまして、市民自治推進委員会の委員が講師をするのであれば、無報酬でお願いしたいとの話があったことから、まちづくり部会の委員さんを講師とする場合は、無報酬でお願いすることになりました。

　２枚目の同じくＡ３横の資料についてですが、健康を中心とした各部会の取組については、１枚目と内容は同じですが、下段に各部会の取組を実施することにより、委員が所属する団体等による想定される取組や関わりなどを記載しております。

　下段の右側は市の関連する事業や経費を記載しております。

　市の新年度予算に関する説明は以上になりますが、会議の中で各委員から発言のあった内容ですが、「市民自治推進委員会の取組を広報紙などで市民に周知していきたい」「市民や各団体を巻き込んでいきたいので、その方法を次回の部会長・副部会長会議で話し合う」との意見や、委員長からは、「今後の各部会の取組としては「健康」を１つの柱として取り組んでいきますが、健康に特化するのではなく、各部会で協議して、プラスアルファで取り組むことも可能ですので、取り組む場合は部会長・副部会長会議で報告してもらう」という意見がありました。

　それから、第２回目の部会長・副部会長会議で話のありました、北海道の受動喫煙防止に関する取組については、逐次情報提供することとしておりましたので、新聞記事を配付し情報提供いたしました。

　それに加えて今回は市の官庁速報にあった記事のコピーを配付しています。

そのほか、伊達市で行っているポイントカードについての情報提供を行いました。

また、委員長から別の会議に出席した際に配付された「疾病分類別多発疾病上位２０傑」及び「青と黄色と緑」のパンフレット（都市計画マスタープラン・景観形成基本計画・みどりの基本計画）が情報提供としてありましたので、本日皆さんにも配付しております。

説明は以上になりますが、部会長と委員長、副委員長も会議に出席されていましたので、会議の内容等について追加の説明がありましたらお願いします。

なお、事務局から配布しておりますアンケートの集計ですが、まだ完璧ではないのですが配布しています。

**≪部会長≫**

今お話しがあったように、幼稚園保育所と中学校区ごとの小中学校でまとめていただいた部分がこの円グラフです。

今後、どのような形でこのデータを有効活用していくかという部分で皆さんのご意見等をお聞かせいただければと思います。

また、委員長から色々と資料をいただきましたので、公園の利活用について進めて行ければと思いますのでよろしくお願いいたします。

　今までの話では、トイレの利用率が全体でどのくらいかという部分と、項目ごとに何を取り上げて特化していくかという部分なのかなと思いました。先日事務局から相談がありまして、ここで皆さんと協議し意見をいただいた方が、この部会としての方向性が明確になるかなということで、この形で提供していただくこととしました。ぜひ、ご意見を頂ければ有難いです。

**≪委員≫**

この資料を１枚の紙で提供するなど、誰が見てもわかるような表示の仕方がないのかなと考えていて、円グラフのままだと膨大になるので、トータルでまとまるものを考えられないかなと思いました。

**≪事務局≫**

全ての合計を出すのは簡単にできると思いますが、部会で話し合われた中で一番皆さんが知りたいのは公園ごとの利用率だったと思います。

幼稚園保育所と中学校区ごとでこの円グラフを作成しましたが、皆さんの求めているものではないなと思いながら作成し提供しています。

**≪委員≫**

この資料は、私たちの部会としては必要だと思います。

基本資料になるので、今後どのように表記していくかということなので、この資料は絶対に欲しい資料なので問題はないと思います。

ただこの資料を１枚にできないかなと思っていました。良い方法はないですかね。

**≪部会長≫**

例えば公園ごとに利用している子どもの数の合計はでますか。

それが分かれば市全体の利用されている公園の順位がでますよね。

市全体でどこの公園が利用されているかということを知るための観点から欲しいと思います。

**≪事務局≫**

児童数が少ない公園は利用数も少なくなってしまうと思います。

**≪委員≫**

児童数のことなどは、補足で説明すれば良いだけなので問題ないと思います。

**≪部会長≫**

単純に一番利用されている公園を上位１０か所くらい出してみてはいかがですか。

100人以下や50人以下などに分けて、地区と全体でどこが一番利用されているかある程度把握できると思います。

**≪委員≫**

逆にいえば利用されていない理由もわかりますよね。

**≪委員≫**

利用されていない公園を無くすことはできないけれど、それがわかれば別の目的の公園にするなど、大きな改善をするという考え方になっていきますね。

**≪事務局≫**

公園のデータは「春夏秋」と「冬」がありますが、使用するのは「春夏秋」のみで良いですか。

**≪委員≫**

今のところは「春夏秋」だけで良いと思います。

**≪事務局≫**

利活用のベースとなる数値は、質問２の①～④を足した数字で良いですか。

**≪部会長≫**

それがあれば、頻繁に利用されている公園がわかりますね。

その中でも全市的に比較したらどこが一番利用されているかわかりますね。

また、遊ばれている公園でどのような遊びをしているかという傾向がわかると利用されている理由もわかるので、関連性が見えれば良いですね。

さらに、「どんな公園がいいですか」という次の問いで、例えば①の「遊具がほしい」との回答が多い場合は別の遊具を付けると改善が図れますということで整理していけそうかなと思います。

**≪委員≫**

このアンケートを実施する当初の目的の中で、利用されていない公園を洗い出せたら良いねという話もあったので、どのようにして出すかということをしないとだめかなと思います。

**≪委員≫**

幼稚園保育所と中学校区ごとでは利用の仕方に違いがありますね。

**≪部会長≫**

１つ目は、世代ごとに出して比較すると特色がでると思います。

２つ目は、公園ごとの利用率の高い低いで並べると利用されている公園がわかりますね。

そのほか、集計する観点ありますでしょうか。

**≪事務局≫**

先ほどありましたが、どのように利用されているかということも必要だと思います。

**≪事務局≫**

集計について補足させていただきますが、この集計表に名前のある公園は「春夏秋」もしくは「冬」のどちらかに名前があった場合記載されています。

全く利用されていない公園は記載されていないです。

**≪部会長≫**

それでしたら利用されていない公園をピックアップできますか。

**≪事務局≫**

できます。

ただし、このアンケートは利用している公園を「春夏秋」と「冬」２つずつ書いてくださいと質問しているので、３番目や４番目に行く公園は出てこないので、名前が出てきていなくても全く利用されていないということにはならないと思います。

**≪部会長≫**

トイレの利用率はどうですか。

**≪事務局≫**

以前、土木・公園グループからいただいた資料の中にトイレのある公園の資料がありましたので、その公園を抽出して出すことはできますが、今回のアンケートを集計していく中で、トイレの無い公園にも利用したことがある、ないという回答が多数ありましたので、記載のあったものについては集計に反映させていますが、実際の数字とは違うと思います。

**≪委員≫**

傾向がわかれば良いと思います。

**≪庁内委員≫**

全体の公園のうち、何％の公園が利用されていないかというのも出した方が良いですね。

【次回の取り組みについて】

以前配布した「総合計画第３期基本計画・第１次実施計画（平成２８年度～平成３０年度）」の第５章について、健康に関するほか育み部会として取り組めることがないかを協議する。

【次回会議について】

　３月２７日（月）１７時３０分から